

あすのば給付金 6,000 人実態調査

沖縄県 子ども・若者の「生の声」

【小学生】

おかねがたくさんほしいです。勉強をしなくてもいきていけるようにしてほしい。
(小学4年生、女性)

何でも高くない安い毎日 心の病気が治る薬があればいい (小学4年生、男性)

ニュースで、国が、外国ばかりにお金をあげてる！ (小学5年生、女性)

りょこうやクリスマスをやりたい (小学6年生、性別無回答)

【中学生】

学習塾に行きたいけど、兄が受験生で兄が塾に行ってる経済的に家計が苦しいのは分かるので、塾に行けていない。
(中学1年生、男性)

子供食堂が近所にあると助かります。あと無料塾も近くで数も多く作ってほしいです。
(中学1年生、男性)

お母さん1人で生活を見るのは大変だと思う。お父さんがいなくなって、お家が貧乏になった。お母さんも働いてばかりで寂しい
(中学1年生、女性)

物価が上がったりガソリン代などが上がったりで自分のお小遣いが減った。部活で使う道具が買えないのがつらい
(中学1年生、女性)

塾を通うことができない。勉強がついていけない。
(中学1年生、女性)

スマホがほしい
(中学2年生、男性)

夢を応援してほしいです。検定代金の補助や所得がひくくても留学できる制度がほしいです。親のしおくりがなくても留学先でがんばれる制度があれば、たくさん勉強できるし私の夢にむかってチャレンジできます。塾に通う人たちにもたちうちできるような勉強できる通信教育の支援があればいいなと思います。(中学2年生、性別未回答)

物価高騰ならそれなりに、給付金など頻繁にないと家計測は苦しくなるばかりだと思う
(中学2年生、女性)

国は、官僚の人、政治家の人、公務員の方は、何故その職業に就いたのですか？初心忘るべからずです。国民市民全ての人に寄り添った対応しないといけないと思います。
(中学2年生、女性)

親の収入が低いので、我慢することが多い お小遣いもないので将来不安でしかない。
(中学2年生、女性)

親がそばにいないこと
(中学2年生、男性)

【高校生】

食費、生活費、大学へ行くための学費
(高校1年生、男性)

離婚後、お金もそうだけど、父親がいなくなったのが寂しい。母親が朝から晩まで働いて話す時間も減った。大学へ進学したいが、今の状況で進学したいと言えない。
(高校1年生、女性)

家賃も払えなくなり家を追い出されそう 携帯も払えなく強制解約になった
(高校1年生、男性)

たくさんやりたいことがあるけど、4人兄妹なので我慢しないといけないし、ひとり親で大変な母に言えない。
(高校1年生、女性)

制服など学校用品無料にして欲しい。通学用自転車も免除してほしい
(通信制高校2年生、男性)

タブレット、Wi-Fi、通信費用の援助
(高校2年生、女性)

自分は、生活が苦しくなるのを分かってても、検定とかがとれなくなるからバイトを辞めると母に相談して辞めたんだけど、母が頑張ってるのを悪いなあと思うながら、自分にもできる家の手伝いで母の負担を減らそうと思うんですが、なかなか思うように出来なくて大変です。
(高校2年生、女性)

学費をください
(高校2年生、男性)

通学にかかる交通費は補助があるのに、寮費の補助はない。寮に入らなければいけないほど遠い人には、寮費の補助を望む。
(高校2年生、男性)

学校通い続いたけれど授業料や単位落としたぶんのお金に関してやめようか悩んだことがあった。
(高校2年生、女性)

たくさんありすぎて何から書けば良いか分からない。
(高校3年生、女性)

お母さんが、仕事を掛け持ちしようとしてるので、倒れないか心配です。
(高校3年生、女性)

行きたい所へ遊びに行けなかった。お祭りとか、お婆ちゃんの家とか
(高校3年生、女性)

就きたい職があるが、進学の入学金等の多額の支払いがきつい。習い事もたくさんしたいけどお金がかかる。友達とたくさん遊びに行きたい。→奨学金等をもう少し増やして欲しい。(種類や給付金額の増加) 3か月に1回でもいいのでナプキン等の配布。私の家は女3名なのでナプキン等の生理用品の消費が激しい。(高校3年生、女性)

大学進学で必要な金銭的な問題があります。受験料や受験地までの旅費、その他大学での新生活を迎えるために必要な家財道具を買うお金が必要となるので、少しまとまった給付金等が有れば良いと思います。
(高校3年生、男性)

ひとり親なので、旅行へもいけないから家族で旅行に行く友達が羨ましい。母一人の収入ではとても大変です。
(通信制高校3年生、男性)

これから大学に通うとなった時にお金を沢山使うので、アルバイトをして交通費などを稼ぎたいと思っているけど、勉強と両立できるかが心配
(高校3年生、男性)

【大学生・専門学校生】

母子世帯で家計は苦しい方でしたが、必要な支援は全て受けられたので良かったです。でも、支援について知らない家庭も多いので、もっと周知する必要があると思います。
(4年制大学1年生、女性)

辛いことが多すぎて何を書いて良いか分かりません。お母さんが可哀想なので親に負担のかからない制度をお願いします。
(専門学校1年生、女性)

交通費がない。友人や、学校行事集まる場所への移動、歩いて帰る時もあった。食費や光熱費、ありえない程高い。半額の食品や、お風呂も水で入ってました。学校指定の物品は、強制で改善して欲しい。お金の格差なく、学べる場を提供して頂きたい。

(4年制大学1年生、女性)

給付金や貸与金が入る夏までの期間借り入れしたこと。4月入学時に必要なお金がなかった。利息をつけて借りたので毎月給付と貸与から少しずつ返している。入学金や教科書、部活動年間費、ユニフォーム代、登下校するための自家用車の購入など5月ごろに支払いが重なって親の名義で借入してもらい、どうにかしのげた。

(4年制大学1年生、男性)

経済的事情で進学を諦める貧困層の児童生徒は、たくさんいると思うので、できる限り早い時期から奨学金制度（特に授業料減免や給付奨学金制度）について、教員を通すなどして徹底周知すべきだと思う。高校生なら1年生の1学期から話した方が良く、一度だけでなく卒業するまでに何度もそういった機会を設けて、パンフレットを配るなどするべきだ。情報を知るのが早ければ早いほど進学の準備ができるし、学習意欲の向上も期待できるからだ。出身校では、授業料減免と給付奨学金制度について、授業時間の一部を使って話を何度もしたり、パンフレットのようなものを配ってくれたりした先生がいたので、知るきっかけとなった。知ることができたおかげで、自分にも進学できる可能性があると感じたし、もし何も知らないままだったら、きっと進学することを考えることすらできず、諦めていただろうと思う。貧困層はそもそも、経済的理由で最初から進学を諦めている人も多く、奨学金情報などの進学に必要な情報に自分からアクセスしようとしにくい傾向があるのではないだろうか。だからこそ、国や自治体が協力して積極的に発信し、情報を届ける姿勢が重要になってくると思う。

(4年制大学2年生、女性)

沖縄にいる高校生、大学生、専門学生は就職活動をするとき、経済的に余裕が無いと県外への就職を諦める傾向にあると感じます。試験や面接に行くための渡航費や宿泊費等を考えると、1回だけでもかなりの負担がかかります。そうすると県外ではなく、県内就職を選び、結局将来への選択肢が狭くなっていると思います。就活支援を手厚くしてもらえたら、子供たちの選択肢が広がり、夢も広がるのではないかと思います。

(4年制大学3年生、女性)

【就労している若者】

若者の意見もよく聞いて欲しい (パート・アルバイト・非正規職員、19歳女性)

沖縄県 保護者の「生の声」

子がやりたいと言ったことは、なるべくやらせてあげたい、となんとかやりくりしていましたが、辞めさせなければいけない状況に心痛めています。毎日毎日お金の心配をして、鬱もひどくなり、半年ほど、休職していました。（40代、母子世帯、女性）

子供の進学のために、給料を増やしたくて長時間勤務に変えましたが、三人の子供の体調面の休みや、私が持病もちであり体調を崩す日が多く、なかなか収入をあげられないです。引かれる税金もあり、手取り10万円もなく非常に生活が苦しいです。

（30代、母子世帯、女性）

親は病院費を負担しなければならないから厳しい。ひとり親などあとから振り込まれるとはわかるが、一時的の負担も大変。そこにお金をかける余裕がなく、病院には中々行けない。

（30代、母子世帯、女性）

生活保護世帯は子供の習い事で様々な支援を受けられず、保護費の範囲で工面するよう言われ、県外遠征の時の金銭面がとても困った。切り崩すものも無いため、家賃、光熱費の滞納にならざるおえない状況となった。

（30代、母子世帯、女性）

部活の送迎、保護を受けているため、車がないので試合には出ない。公共の交通機関では、朝早い集合時間に間に合わない

（30代、父子世帯、男性）

経済的に苦しめられているのにどんどん出費が高く増えるばかり、長生きをしたくないと思える国であり、子供らの未来が心配でたまらない…少子化対策行う気がないと思っている未来ある子どもへの手当てを惜しみすぎている。

（20代、両親のいる世帯、女性）

お金がなくて、両親もいなくて、1人で子どもを育てていた時に食べる物がなくて、お弁当を1個を6人で分けたり、毎日味噌汁だけだったり、具なしの粉と、水だけのヒラヤーチーだったり、お腹すいた記憶は今でも忘れられないし、上二人のお姉ちゃん達にどんだけ、我慢させてしまったか、今でも忘れられないぐらいにつらいです。今は、娘2人がバイトしてくれてますが、何とか生活保護を受けずに生活してます。出来たら団地に入りたいですが国民健康保険を滞納したり、いろいろあって入れないのが現状です。もっと、入居しやすい環境にしてほしいです。

（30代、母子世帯、女性）

いっぱいあり過ぎて、どう書けばいいのか、解りません。毎日が、私にとってつらい日々です。私の身体や精神に病気を抱えていて、周りに迷惑ばかりかけており、生き

る価値がないと思っています。

(50代、両親のいる世帯、女性)

子供がいるが、成人者もいてその子も片親で子育てをしているので、私がその子の面倒を見に行かないと行けない時もあるので、離れている（離島の）ため二重生活もしていて余計に生活費が大変。仕事も休まないと行けないのに、給料は安いままで賃金まで全く上がらないし、休めても給料は入ってこない…それで余計生活苦になる。もっと給料があがればそれなりの生活はできると思うけど…公務員だけが保障なり扶養者の手当も確保されていて正規じゃないのは何の保障もない。

(40代、母子世帯、女性)

現在、離婚調停中でひとり親の行政支援がまったく受けられないことがとても苦しいです。何のための支援なのか。行政の支援を簡単に受けて、うわべだけの離婚をして実際の状況は変わらない人達を見てると腹がたってきます。本当に生活状況が苦しい1人親(別居中でも)にも支援が行き届くようにしてほしい。家賃の負担もとても大きいので、家賃補助等の制度があると助かります。

(40代、母子世帯、女性)

高校三年生の子供が県外への進学を希望しており、その時にかかる進学費用が莫大にかかる。母子家庭はお金を事前に準備することがままならない方や、教育ローン等も通らない方も多々いるはず。また身内もいない、協力してくれない等の家庭の理由もあると思う。日々がいっぱいいっぱいの中でも、子供には未来への希望を捨てないで欲しいと思って仕事しながらも、なかなか上手く物事が運ばなくて落ち込む時も一度や二度ではありません。そういう方々にも何か協力して頂ける支援があれば…と思っています。

(母子世帯、女性)

就労支援で短い時間就労してますが、働いた分の給与の分生活保護費が削られ、働く前より著しく減り、生活環境がとても苦しく、食事もカレーが3日続き、袋ラーメンが頻繁になりカップ麺は金額が高くなかなか買えません。少しでも食費を抑えるため、日々考えているところです。私の病気の状態や行動制限等があるので、子供には日々つらくて・厳しい生活を送らせてしまい申し訳ないと思っています。

(50代、父子世帯、男性)

旦那が働かず収入がなく、また、離婚しても養育費なく、子供が1歳になるまで預けることもできず、生活保護の相談に行ったが、実家に帰るように諭され2度同じ対応だった。食べるものがなく、つらい日々を過ごした。

(40代、母子世帯、女性)

死にたい。けど死なない。1人ならとっくに死んでると思う。自由になりたい。1人になりたい。幸せになりたい。朝からずうーっと子供達がケンカばかりして辛い。お金がほしい。美味しいご飯子供達に食べさせてあげたい。理想と現実では、、とにかく1日1日を生きていくしかない。

(40代、母子世帯、女性)

離婚後生活保護を利用していたが、私自身早く自立したい思いが多く、いま思うと抜けるタイミングではなかったと思う。でも抜けるように促され、生活保護抜けた結果、現状は変わらず、むしろ悪化し借金まみれになった。（40代、母子世帯、女性）

高校に進学すると子育て給付金がなくなり、生活費がマイナスになるため、夜勤をして収入を増やすようにがんばったら、非課税世帯ではなくなり、これまで対象だった非課税世帯への支援もなくなりました。子供が高校・専門学校・大学と進学にたくさんのお金がかかるからと仕事を頑張っているのに、支援がなくなる制度…せめて子供が就職でない家庭には、20歳になるまで母子手当など継続してほしい

（40代、母子世帯、女性）

子供達に我慢させまくっている自分が許せなく、あれが食べたい、あれしたい、欲しいなど我慢させていて。ナプキンが買えず私自身出産時に残ってたお産用のオムツや三女がおままごとにつかっていた赤ちゃん用のオムツをつかい切り切りました。とても惨めでした。生活保護受給者ですが、5人で絶対生活できません。光熱費も高く、物価も高く、なのに生活保護は甘えだとか足りないわけがないとか。都道府県で金額もちがうのに政治家さんたちが、生活保護に給付金あげて意味ない、無駄使いするだけだ、的な。ありえません！本当にギリギリどころじゃないですよ。足りないのを我慢させている状況を把握していただきたいです。（30代、両親のいる世帯、女性）

今、政府間で非課税世帯への給付金がありますが、中間層世帯への給付も手厚くしてほしいです。非課税ギリギリで給付金も貰えず狭間で苦しんでいる人もたくさんいます。また、多子世帯への給付金も手厚くしてほしい。子供が楽しく生きられる日本にしてほしい！

（40代、母子世帯、女性）

学用品等、制服（夏服、冬服）、シューズや体育着を購入する費用がないです。夏服を入学と同時に購入しても、秋には冬服をかわなくてはならないので、経済的に負担です。リユース品を探しますが、探しにいく時間や交通費も大変です。また、毎月学校に払う、学用品 3000 円×12 か月分を無料にしてほしいです。学年Tシャツは購入自由でも修学旅行や団体活動で使用するとなると、購入しないと、子供がぽつんとなります。そういった課外活動費用の支援があれば助かります。メガネ代も購入費用として支援がほしいです。中学生になると、模試代や、補助学習に必要な問題集も購入したいですが、できず中古で探しますが、10年以上前など、新要綱などが含まれてなく買えません。進学する意思はあるが、経済的に負担が大きいです。給食がない学校なので、毎日弁当を作りますが、食費が給食費並みにでます。昼食代などの支援が補助があれば助かります。栄養も昼食時にはあまりとれてません。給食のようにおかわりできず、弁当の品数をかう費用がないです。（40代、母子世帯、女性）

物価が上がり、家計が苦しく子ども食堂を利用させてもらっていたが、子も大きくな

り、子ども食堂にいきたがらない。弁当支給やご飯屋さんのチケットなどがあればすごく助かります。
(40代、母子世帯、女性)

子供4人抱えて、貯金も無くて、物価は高くなるし、借金は増えていくだけで、どうやって生活していけばいいんですかね。教えて下さい。
(40代、母子世帯、女性)

両親が見れない子供達も、両親がいる子供達と同じように生活できる制度が欲しい
(70代、保護者が父母以外の世帯、女性)

生活が苦しくて、借金しても支払いに追われて、光熱費、学費、家賃など滞納中。自分名義で借入などできないため、かなり苦しい状況です。ガスも5か月止まっており、お風呂も夏は冷たい水で入れたのですが、今は実家にお風呂借りに行ったりとホント苦しい生活でどうにかまとまったお金、支援金が欲しいです。
(40代、母子世帯、女性)

相談してもわかってくれる人がいない。
(20代、母子世帯、女性)

高校生から手当も給食もなく、今が一番精神的に厳しい。子供が英語に興味があり、その高校に通っています。大学進学を強く希望しているため、塾に行くことになりました。初めて泣くほど苦しんでいたのが入塾させ、先生方のサポートで明るさを取り戻し、気持ちも安定して前向きに将来について向き合っているのが良かったと思っていますが、今後の進路や塾の費用など不安は拭えません。子供にはお金の心配はさせないようにしていますが「金銭的に無理」と子供の方が感じ取って将来への意欲が薄れていったので苦しかった。
(40代、母子世帯、女性)

この1、2年、子供に誕生日プレゼントやクリスマスプレゼントを買ってあげることが出来ないのがつらい。先日、ガス代が支払えず、1日だけでしたがガスが止められて、子供が冷たいお風呂に入ってイライラしてる様子だったのを見て、自分が情けなくなった。
(40代、母子世帯、女性)

自動車税の税金も、ひとり親にとってはとても高いと感じてる。高校卒業後の進路の学費も給付型奨学金だけでは厳しく、有利子奨学金との併用を検討中。ひとり親世帯に対して、もっと学費減免や免除等をしてほしい。自動車免許取得もお金がかかり、車社会の沖縄県の就職必須資格なので、取得費用もなく苦しい。
(40代、母子世帯、女性)

※“母子世帯/父子世帯”は、離婚調停中や配偶者・パートナーと別居中などを含んでいる。